

トヨタ自動車特集

新興国の需要をとらえる



i-MiEVはKD生産を拡大する(写真はタイで生産する「フォーチュナー」)



ダイハツから供給を受けた新小型車アギア

成長鈍化で下方修正

専用小型車を投入

トヨタは13年4月6月期連結決算会見で14年3月期の海外の販売台数計画を下方修正した。「一部新興国で市場が弱含んでいる」(佐々木常務役員)ことが大きな要因だ。特に動向に注意が必要としたアジアでは当初計画比6万台減の170万台とした。

タイでは当初50万台の販売目標だったが45万台に下げた。市場が拡大した12年の受注残が3月まであったが4月以降は落ちているという。インドも市場自体が落ち込んでいる。

一方、中国は経済成長は鈍化しているが、「(市場全体は)12年の1930万台を少し上回るだろう」(佐々木常務役員)と見る。ただトヨタは12年秋に起きた日本車不買運動の影響が尾を引いていることもあり、ようやく前年に近い水準に戻った。

「もったいないクルマを提供する。販売地域での生産を基本とし、現地に根付いた事業基盤の構築と収益体質を強化する」(伊原副社長)。こうした

ダイハツと連携
小型車現地生産拡大へ

3月にタイに投入した小型セダン「ヴィオス」もエディオスと並ぶEFCシリーズの中核車種。ヴィオスはタイでは03年から10年連続でBセグメント車市場でシェアナンバーワンを獲得してきた人気車種だ。それを全面改良した新ヴィオスを担当した松田健製品企画本部CEは、「初めて車を購入するお客さまが家族や友人に誇れる車を目指した」と語る。

開発ではデザインを最優先した。前モデルが「特に中国でデザインが丸くこけて女性的と指摘され敬遠されていた」(松田CE)ため立派で堂々としたデザインを目指した。次に重視したのはサイズ。新興国ではエントリカーとはいえず、アメリカとして使われるため前モデルより大きくした。燃費性能も高めた。特に「燃費にシビア」という中国の顧客にアピールする。現地に根ざした事業基盤

「新興国は将来拡大する重要市場だが、何が起きるかわからない不透明な市場でもある」。トヨタ自動車の新興国事業を受け持つ第2トヨタ担当の伊原保守副社長は、こう語る。事実、足元では一部の新興国で需要拡大にかけが見えてきておりトヨタも苦戦を強いられている。ライバルとの競争も激しさを増している。トヨタは新興国戦略の柱としている「i-MiEV」シリーズに加え戦略小型車を相次ぎ投入するなど巻き返しを図る。



EFCシリーズの第1弾は10年にインドで生産・販売を始めた「エディオス」。トヨタが新興国市場をターゲットに開発した初めての乗用車だ。冷房の効き具合など現地特有のニーズを取り込み価格も抑えた。トヨタ車は品質への評価が高く新興国でもファンは多い。しかし日本では大衆車の小型車「カローラ」も新興国では価格が高い。「親が子ともにトヨタ車を勧めたくても

しそだ。9月にインドネシアで発売した排気量1000ccの小型車「アギア」は現地のエコー・ダイハツが現地の工場で生産したOEM(相手先ブランド)供給を受けている。トヨタは、我々に商品がなくて困っているAセグメントや、Bセグメントのローではダイハツとの連携を深めた。伊原副社長としており、今後の協業が目される。

IMVについても「セダンとハッチバックタイプを投入し、ガソリンエンジンだけでなく現地で需要が大きいディーゼルエンジンタイプも追加。生産体制も現地の車両工場を増強したほか、エンジンや変速機といったユニット部品の工場も整備してきた。ただ競争が激化しているセグメントのクルマだけに最近では「エディオスが競合車に売れ負けている」(佐々木常務役員)ため、今後の販路策が注目されている。

またエディオスは12年にはインドから南アフリカ共和国への輸出も開始。12年にラジアルで13年3月にはインドネシアでそれぞれ生産・販売を始めた。各国ごとのニーズに合わせて少しずつ仕様を変えて展開している。

もうはじまっています。
家とクルマの未来形。



家庭内のエネルギー利用を最適にコントロールし、家とクルマがつながってエネルギーを効率的に使うこれからの住まい、スマートハウス。

スマートハウスの登場によって、家とクルマの関係が大きく変わりはじめています。もっとエネルギーのやりとりがしやすい住まいへ。クルマを止めるだけでなく、家族やコミュニティの憩いのスペースへ。クルマから室内へ、便利で安心なアクセスを。もっと暮らしやすく、もっと楽しく、スマートな明日へ。家とクルマを見つめつづけてきたトヨタホームからの提案です。

ESPACIO
GARAGE
STYLE+

家とクルマのスマートデザイン

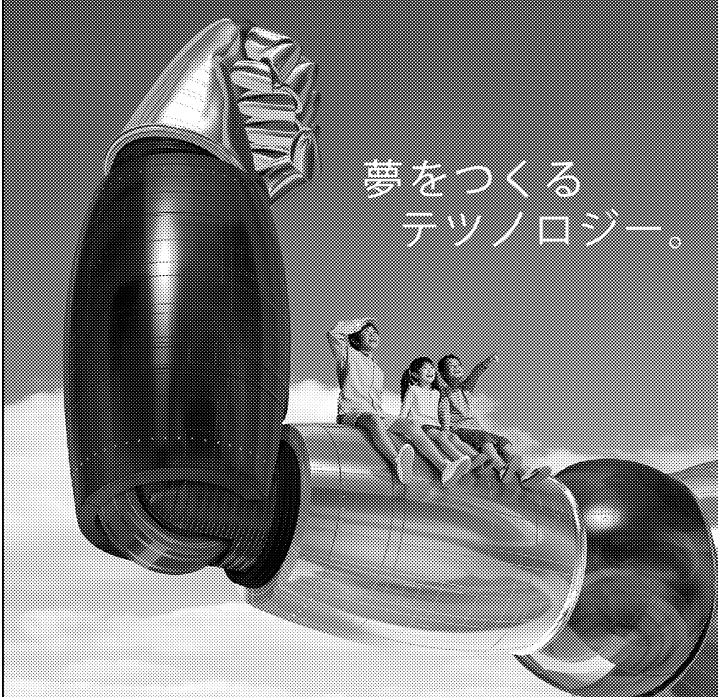
最先端IT・エレクトロニクス総合展
CEATEC
JAPAN

私たちトヨタホームは、CEATEC JAPAN 2013 特別展示「Lifestyle Innovation 2013」に出展します。

[会期]2013年10月1日(火)～10月5日(土) [会場]幕張メッセ

お問い合わせはこちらへ ☎ 0800-500-2448 無休 9:00～17:30 (年中無休) トヨタホーム 検索 (人生をこいっしょに) トヨタホーム

愛知製鋼株式会社



夢をつくる
テクノロジー。

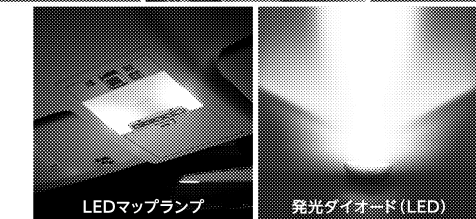
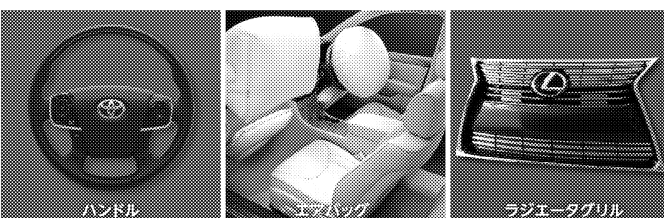
熱く、強く、まっすぐに。

愛知製鋼株式会社

〒476-8666 愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地
ホームページアドレス <http://www.aichi-steel.co.jp/>

TOYODA GOSEI

～自動車部品とLEDで、
人と地球の未来に貢献～



豊田合成株式会社

—世界17カ国/地域に60のグループ会社で事業展開—

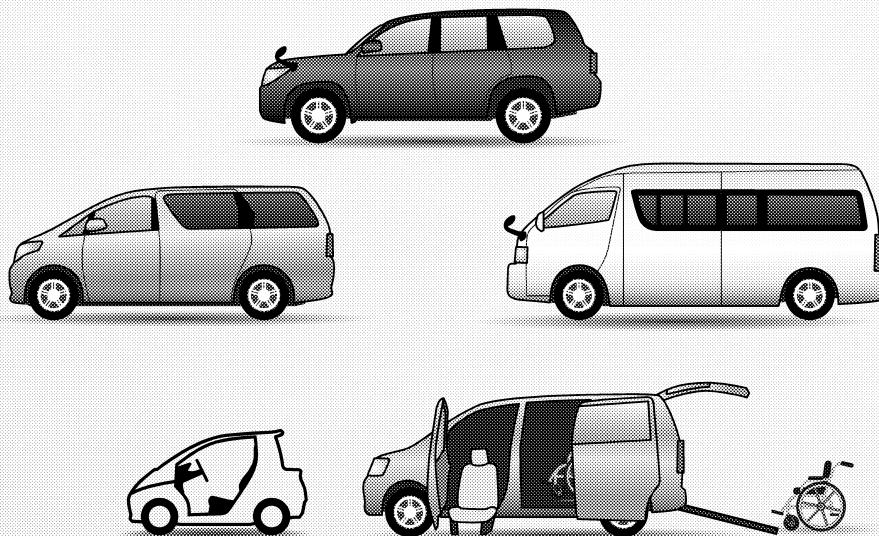
- 内外装部品 (インパネモジュール、ラジエータグリル 他)
- オートモーティブシーリング製品 (ウェザーストリップ、ガラスシール 他)
- 機能部品 (燃料タンクモジュール構成部品、ホース類 他)
- セーフティシステム製品 (ハンドル、各種エアバッグ 他)
- オートエレクトロニクス製品 (青色・白色LEDランプ・チップ 他)
- 特機製品 (通信機器部品、住宅設備部品、産業車輛部品 他)

本社 / 〒452-8564 愛知県清須市春日長畑1番地
Tel:052-400-1055 Fax:052-409-7491
<http://www.toyoda-gosei.co.jp/>

ミニバン、商用車、SUVの
完成車両メーカーをめざして。

トヨタ車体はミニバン、商用車、SUVの企画・開発から生産までを手がけ、時代をリードし、クルマのある豊かな生活の実現に努めています。

これまで、これからも、地球環境への対応はもちろん、豊かなクルマの未来、人の未来へ私たちは挑戦を続けています。



トヨタ車体
TOYOTA AUTO BODY

トヨタ車体株式会社
〒448-8666 愛知県刈谷市一里山町金山100番地
www.toyota-body.co.jp